

この度、平田五郎が2004年10月～2005年11月にかけて行ったアラスカでのフィールドワークの仕事をまとめた写真集「Inside Passage — The Raven Steals the light (月を盗んだワタリガラス)」が完成しました。

この写真集はアラスカのトリンジット族の神話「RAVEN STOLE THE LIGHT」をモチーフに神話のワタリガラスが月を求めて次々と10個の箱を開ける物語のように、作家平田五郎が行く先々で現地の素材を集めて小さな彫刻を作り、自ら撮影して写真に収めました。

写真集は10個の彫刻を制作した場所に辿り着くまでの風景写真もあわせて編集しており、1冊1冊手作りされていますので、本を読み進む行為がまるで平田五郎のアラスカでの体験を追体験しているかのようです。

アラスカに伝わる神話によれば、最初世界は果てなく水面の広がる単調な世界で、退屈してしまった父なるワタリガラスが、水中に泥を落として最初の陸地を作った。それはすぐに広がり、新しい場所を見ようと彼は飛び立った。長い旅行の途上、彼は最初の人間を呼び出し、全ての川と湖をもたらし、暗かった世界に光を取り戻した。ある神話によれば、その光は幾重にも内側へと連なる、入れ子状の箱に入れられ、最も奥の10番目の箱の中から、白く輝く光の球が現れる。高い山の上から、彼が投げ上げた光は、空にとどまり、月となった。

2004年10月22日から2005年11月23日までアラスカに滞在した。2005年4月27日よりクイーンシャーロット島で最初の彫刻を作る。アンカレッジに戻りケチカンでの準備期間を経て5月24日カヤックで出発。8月28日カヤックでの行程を終了し、ガズティパスからセスナにてリッツ湾および最後の湖に向かう。9月28日作品終了。

お申し込み方法

下記お申し込み書に必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込み下さい。
※メールでもお申し込みを受付いたします。

FAX : 0564-28-6116

Mail : msg@kcf.biglobe.ne.jp

取扱いギャラリー **masayoshiSuzukigallery**

愛知県岡崎市康生通南3丁目20番地 STAGEビルII 1F 〒444-0044
Tel / 0564-28-1317
HP / www.masayoshisuzukigallery.com

※作家手作りの為、納品まで1ヶ月程かかります。

お申し込み書

フリガナ
氏名

(〒 —)

住所

電話 () —

FAX () —

Mail
アドレス

写真集の納品方法

※どちらかお選び下さい。

ギャラリーにて受取り

宅配希望 (宅配の場合は別途費用がかかります)

平田五郎
1965 東京都生まれ



■ 個展

- 1990 「水舟」東京芸術大学展示スペース/東京
- 1992 「From Talking Circle '92 平田五郎展」ギャラリー・アート倉庫/東京
- 1995 「平田五郎展 MIND SPACE — 4つのとび地 —」ストライプハウス美術館/東京
- 「平田五郎展 — MIND SPACE —」ギャラリー日鉱/東京
- 1996 「THE GARDEN #13 平田五郎 庭園の顕現」INDEX GALLERY / 大阪
- 「クリテリウム 21 平田五郎 Mind Space」水戸芸術館現代美術センター/茨城
- 1998 「平田五郎 Mind Space — 空を見るために」ギャラリーαM/東京
- 2000 「平田五郎展」Gallery Q / 東京
- 「平田五郎展 Mind Space — 積木の家」ノブギャラリー/岡崎・愛知
- 2001 「平田五郎展」ノブギャラリー/岡崎・愛知
- 2002 「佐久島空家計画 — 大葉邸」佐久島/愛知 [~'08]
- 2003 「特別展示 平田五郎」群馬県立近代美術館/群馬
- 2005 「The Raven Steals the light」International Gallery of Contemporary Art/ アンカレッジ・アラスカ
- 2007 「月を盗んだワタリガラス」GALLERY A⁴/東京
- 2009 「月を盗んだワタリガラス」masayoshi suzuki gallery/ 岡崎・愛知
- 2010 「平田五郎展」Gallery 604/ 釜山・韓国

■ グループ展

- 1986 「FROM SOUND 共鳴する美術館」ストライプハウス美術館/東京
- 1987 「音と造形・特別展 音とオブジェたち展」こどもの城/東京
- 1988 「SOUND GARDEN 2」ストライプハウス美術館/東京 ['90、'91、'94]
- 1989 「ふれあい彫刻展」NS ビル/東京
- 「剛と五郎のちょっと楽しい展覧会」東京芸術大学展示スペース/東京
- 1991 「アートプロジェクト 2000 複合展示会—東京エントリ— 1991」ラフォーレミュージアム原宿/東京
- 1993 「サウンドカルチャー・ジャパン'93 音響展」有楽館/桐生・群馬
- 1997 「九頭龍展」清州国立美術館および大清湖/韓国
- 1998 「TRACE 展 — 8人展 —」ギャラリー SOL / 東京
- 「超日常 — 日本現代美術 7人展」上海美術館/中国
- 「日韓現代美術展 — 自己と他者の間 —」目黒区美術館/東京、国立国際美術館/大阪、韓国文化藝術振興院美術館/ソウル
- 「テストと探求 — 1990年代の日本美術」ニューデリー国立近代美術館/インド、マニラ・メトロポリタン美術館/フィリピン
- 1999 「呼吸する風景」埼玉県立近代美術館/埼玉
- 「アジアのニュー・インスタレーション」マットレス・ファクトリー/ピッツバーグ・アメリカ
- 2000 「SCALE&SPACE vol.7 — 刻 —」ノブギャラリー/岡崎・愛知
- 「Gold Frame 展」ノブギャラリー/岡崎・愛知
- 「Gendai : 日本の現代美術 — ボディとスペースの間」ワルシャワ現代アートセンター/ポーランド
- 「水晶の塔をさがして 現代アートが開く『私』の世界」福岡市美術館/福岡
- 2001 「ヴァイブレーション 結びあう知覚」宇都宮美術館/栃木
- 「SCALE & SPACE vol.9 -Drawing-」ノブギャラリー/岡崎・愛知
- 2002 「Temporary Existence」エクス・テレーザ国立現代美術センター/メキシコシティ・メキシコ
- 2006 「素景」資生堂ギャラリー/東京
- 2007 「WAX WORKS SITE vol.5」GALLERY TOMOS/東京
- 2009 「エコ&アート 近くから遠くへ」群馬県立館林美術館

■ フィールド・ワーク

- 1988 「蟻の生活」/ 笠間・茨城
- 1989 「燃やされた人」/ 笠間・茨城
- 「Mind Space」東京芸術大学音楽部グラウンド/東京
- 1990 「シェルター」自宅庭/浦和・埼玉
- 1991 「Snow House」/ 築場・長野
- 「開かない門」白神山地/秋田
- 「ひみつの通路」湧洞沼/豊頃町・北海道
- 1992 「Mind Space」個人宅庭/鎌ヶ谷・千葉
- 1993 「Snow House」オンネトー湖/足寄町・北海道
- 「Mangrove Ship — 緑の船のプロジェクト」/ 西表島・沖縄
- 1997 「8月20日 空を見るために」/ 清州・韓国
- 1998 「風のなかの歩行 — 砂の家」/ トルファン・中国
- 1999 「山頂への歩行」/ ラダック・インド
- 2005 「INSIDE PASSAGE—月を盗んだワタリガラス」クイーン・シャーロット島/カナダ〜南東アラスカ・アメリカ

■ 受賞歴

- 2004 五島記念文化賞 (美術新人賞)
- 2005 創業50周年記念 Benesse 賞 (優秀賞)